

企業経営へのIT導入—定期評価が成功のポイント

(本稿は、8月7日付千葉日報に掲載されたものです)

(株)ちばぎん総合研究所
主任コンサルタント 三田村 彰

企業経営において、IT(情報技術)の活用は非常に重要な課題となっている。大企業から中小企業まで、IT導入の成否は、経営に対し大きな影響を与えよう。しかしながら、全ての企業において、導入したシステムが効果的に機能しているかといえば、残念ながら必ずしもそうではない。システム稼動後に当初想定した機能を満たしていないことが発覚したり、開発途中で修正要望が多発し、開発スケジュールが大幅に伸びるとか、開発コストが当初予算をオーバーするなどといったケースはよく耳にする話である。

それでは、IT導入を成功させるには、どのような点に気を付けていけばよいのだろうか。システム開発は、一般的に「要件定義」「基本設計」「詳細設計」「プログラム開発」「結合試験」「総合試験」という一連の工程で成り立っている。各工程とも重要な役割を担っているが、ユーザーが特に注意すべきことは、「要件定義」という最初の段階で、自分たちが何を実現したいのかを、徹底的に検討し、その内容を固めることである。

実際に新システムが完成するのは、数ヵ月以上先になることもあるため、この段階で本気になって考えることは簡単ではないが、失敗するプロジェクトの大半は、この工程をあいまい、いい加減に行なったことが原因となっている。なぜなら、ここで決めた要件がぶれると、設計、開発、試験という後続の工程全てに影響が及ぶためである。工程が進めば進むほど手戻りとなる作業も増え、それまで費やした時間と労力が無駄になってしまう。それでは「要件定義」は、具体的にどのようにして進めたらよいのだろうか。

第一は、実際にシステムを使う現場担当者の参画である。業務内容に一番精通した担当者が加わることで、画面や帳票など、自分達が使うイメージをもって検討を進めることができるため、機能面の完成度が高まる。また、作成する帳票等は、使用者は誰で、それを何時までに必要とするのかといった運用方法を明確化することで、実際にシステムを運用する際の注意点も、洗い出すことが可能となる。例えば、業務によっては、月末や決算月など、特定日時に処理が集中するケースがあるが、ピーク時でも普段と変わらない処理性能を確保することは、運用上重要なポイントである。また、データベースなどのシステム資源についても、将来のデータ処理件数の伸びを想定した容量を確保するためには、正確な基礎データの把握が必要であり、現場の実態を把握している担当者の協力は不可欠である。

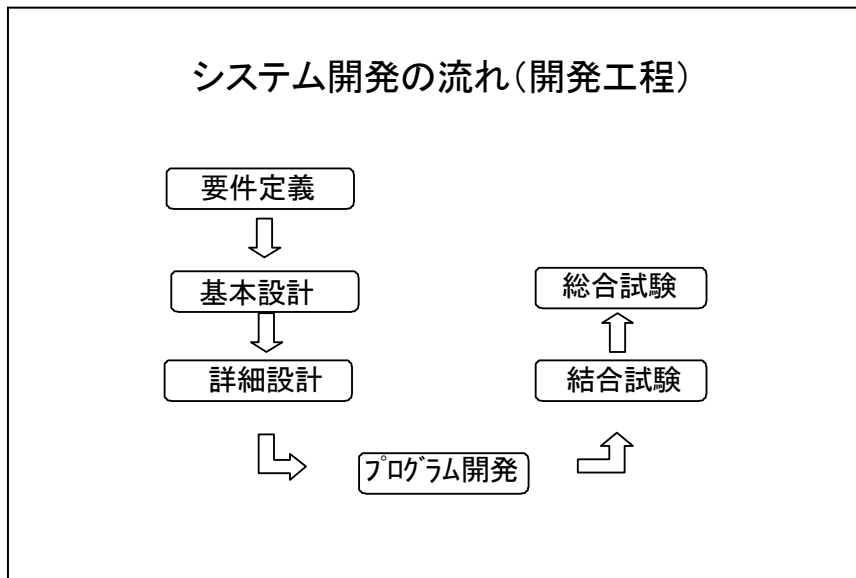
●本紙面に記載されているあらゆる内容の著作権は、株式会社ちばぎん総合研究所及び情報提供者に帰属し、いかなる目的であれ無断での複製、転載、転送、改編、修正、追加など一切の行為を禁じます。

株式会社 ちばぎん総合研究所
TEL 043-207-0621
FAX 043-207-0731

第二に、固めた要件については、社長もその内容をしっかりと把握し、その上で承認することである。担当者まかせにせず、社長や経営幹部が完成後のシステムの内容を押さえておくことは、開発の進捗状況を把握する上でも、システム稼働後の導入効果を検証する上でも、非常に重要なことである。また、要件を社長が承認していれば、開発に携わる全ての人が、積極的に開発を推進することができる。

第三は、要件定義の工程に十分な時間を確保することである。とくに現場の担当者は、通常業務に加えて、要件定義の検討を行うケースが多いため、どうしても現業優先になりがちである。そのためには、早めに開発体制を立ち上げ、余裕を持ったスケジュールを組むことが重要である。ここで時間を惜しむと、後の工程で何倍もの時間を費やすことになるのである。

最後に、IT導入の成否は、無事に稼働させることが最終目的ではなく、当初想定した導入効果を実現したかどうかのポイントとなる。貴重なコストや人材を投下しただけの効果が上っているかを、定期的に評価することをお勧めする。



今後 Business Letter が不要の方は、お手数ですが F A X 番号をご記入のうえ、
F A X 0 4 3 - 2 0 7 - 0 7 3 1 まで返信をお願いします。

Business Letter 不要 (チェックをお願いします) F A X 番号 ()

●本紙面に記載されているあらゆる内容の著作権は、株式会社ちばぎん総合研究所及び情報提供者に帰属し、いかなる目的であれ無断での複製、転載、転送、改編、修正、追加など一切の行為を禁じます。

株式会社 ちばぎん総合研究所

TEL 0 4 3 - 2 0 7 - 0 6 2 1

FAX 0 4 3 - 2 0 7 - 0 7 3 1